

# 令和2年度 さいたまま市立芝原小学校 自己評価書

## 1 学校で設定した「令和2年度の目標」及び関係する「評価項目」について

- (1) 教育課程、学習指導の充実  
基礎学力の定着やよい授業の4つの因子を入れての授業の充実、「わかる」「できる」を実感するおもしろい授業づくり、体験的な学習や問題解決的な学習指導、児童の興味・関心を生かした学習指導
- (2) 体力の向上と、保健や食育、安全の指導の充実  
コロナ禍における体育授業の充実、養護教諭や栄養士・学校医等と連携した指導の充実、各種避難訓練、一斉下校や日常的な登下校指導の実践とルールやマナーの育成
- (3) いじめや不登校の対応、教育相談の充実  
互いを尊重し合う人権教育の推進、規範意識の向上に向けた指導、児童及び保護者を対象とした教育相談体制の充実と全教職員による組織的な対応、豊かな人間関係づくり
- (4) 保護者、地域との連携  
保護者や地域に向けたコロナ禍における授業や学校行事の公開、各種たよりや広報掲示板を活用した情報発信、学校Webページや学校安心メールを利用した即時性のある情報伝達、地域の教育力の活用

## 2 評価結果について

- (1) 教育課程、学習指導  
「学び合い」を主題にした研修を通して、教員は熱心に授業づくりに取り組んでおり、94%の教員が「わかる」「できる」を実感するおもしろい授業を展開していると回答している。また、「勉強はよくわかっている」と肯定的な回答をしている児童は89%に達するが、残りの11%の児童には課題が残る。
- (2) 体力の向上と、保健や食育、安全の指導の充実  
保護者からの体力向上に関する肯定的回答は67%と、あまり高くは現れなかった。コロナ禍における体力向上の方策について検討を重ねる必要がある。  
保健や食育指導については肯定的な回答が80%であるが、昨年度が87%であったため、取組の内容や周知の方法を検討する必要がある。
- (3) いじめや不登校の対応、教育相談の充実  
これまでに引き続き、規範意識の向上に向けた取組を徹底するとともに、組織を挙げて生徒指導に取り組み、教育相談を充実させてきた。一方で、児童・保護者ともに肯定的な回答が75%程度にとどまっている。
- (4) 保護者、地域との連携  
学校行事の実施に当たっては、コロナ禍に依りつつ、保護者が参観しやすいように工夫したが、肯定的な回答が昨年度を下回り、74%にとどまっている。

## 3 次年度に向けた具体的な改善策について

### 〔教育課程、学習指導〕

- ・ICTを活用した授業改善に取り組み、基礎学力向上につなげる。
- ・業前活動「のびっ子タイム」の学習内容や方法についてさらに改善していく。

### 〔体力向上、保健・食育・安全指導〕

- ・コロナ禍における体力向上の方策を検討、実施し、体力向上の取組の充実につなげる。

### 〔生徒指導、教育相談〕

- ・「芝原小スタンダード」を家庭に配付し、学校と保護者・地域が一体となって規範意識の向上に向けた取組の徹底を図る。
- ・担任以外の教員やスクールカウンセラー等の専門スタッフ等を活用するとともに、保護者の協力を得ながら生徒指導上の課題に取り組んでいく。

### 〔保護者・地域との連携〕

- ・PTA組織を整備し、保護者との連携を強化する。
- ・コミュニティスクール準備委員会を組織し、保護者や地域と学校課題を共有する。

# 令和2年度 さいたま市立芝原小学校 学校関係者評価書

さいたま市立芝原小学校  
学校関係者評価委員長

## 1 学校関係者評価の実施体制

- (1) 構成人数 8人
- (2) 実施回数 3回

## 2 学校関係者評価（学校関係者評価委員の意見等）

- 登校時など、上級生が下級生を意識している様子が見られる。
- コロナ禍において工夫して実施した体育授業参観は全ての活動がよく見え、十分楽しめた。
  
- 地震や台風など、想定外の自然災害に備え、学校の具体的な対策を保護者や地域が共有できるようにする必要がある。
- あいさつのできる児童が増えている様子であるが、あいさつを含めた基本的な生活習慣は、本来は家庭でしつけるべき内容である。学校のやるべきことと家庭でやるべきことを仕分け、役割分担していく必要がある。
- インターネットトラブルを防ぐための授業を実施しているが、インターネットによるトラブルを防ぐには、携帯電話等を持たせる保護者の責任である。保護者への啓発も必要である。
- 児童アンケートにおいて、先生と関わる項目の否定的回答が23%程度ある。35人学級で8人の児童の心が満たされていないと意識することが大切だ。保護者との連携も必要である。
- 子ども達が生きていく上で、自分を出表できることが大切である。
- 体力向上は、さいたま市全体の課題であり、本校も例外ではない。

## 学校関係者評価を受けた学校の対応

- \* 体育を通して「学び合い」のできる子どもを育てる。
  - 体育の充実 体力向上の評価アップへ
  - 他教科へ 基礎学力アップへ
- \* 基本的な生活習慣の定着について、家庭との連携を図る。
- \* 児童一人ひとりに寄り添う教育相談を計画的に実施し、いじめの早期発見・早期解決を実現する。
- \* コミュニティスクール準備委員会を組織し、保護者や地域と学校課題を共有する。
- \* 緊急時の対応を含め、学校の様々な情報を保護者と地域に積極的に発信する。

さいたま市立芝原小学校長